

県内就職率の向上をめざして (人材確保委員会)

●7/7 工業系高校および大学等と意見交換会

今年の意見交換は売り手市場という状況もあり、企業における福利厚生に関する話題に集中しました。また、下表から工業高校4校の県内就職率の平均値(42%)は27年度より7%低下し、全高校よりも約20%低くなりました。

◇参加機関

室戸高校、安芸桜ヶ丘高校、高知東工業高校、高知工業高校、須崎工業高校、宿毛工業高校、ポリテクカレッジ高知、高知高専、高知工科大、県教委高等学校課、県商工政策課

H28年度 工業高校4校の県内就職率 (各高校の提出資料より作成)

	県内就職者数(人)	県内就職率 (%)	
高知東工業高校	33	45.2	全高校の 県内就職率 60.9%
高知工業高校	70	44.0	
須崎工業高校	34	39.5	
宿毛工業高校	27	39.1	



意見交換会の会場風景 (高知会館)

●7/10 高知工業高等学校と意見交換会

県職業能力開発協会と共催で開催。高知工業高校の先生方と、以下の事項を中心にして活発な意見交換を行いました。この場でも、福利厚生関連について学校側から直球勝負の質問がありました。

- ・ 近年改善した福利厚生
- ・ 取組まれている働き方改革
- ・ 有給休暇の取得率 等

◇参加機関 :

委員会企業他、県職業能力開発協会・県教委高等学校課・県商工政策課



7/28 工業会・高知県・産業振興センター 意見交換会を開催 (総務委員会)

今後の施策展開として、以下の3テーマについて意見交換を行いました。また、その後の懇親会にて交流をさらに深めました。

平成27年3月の協定締結から2年余り。3者がより連携を深め、具体的且つ着実に各種の事業を展開してきました。今回の意見交換会では改めて連携の度合いを実感するとともに、今後への進展に期待がもてる意見交換会となりました。

- ① 経営力の強化
- ② 人材の育成と確保
- ③ 生産性の向上のためのIoT技術の導入・機械化などの推進と海外展開の推進

参加者 高知県20名 産業振興センター15名 工業会32名



7/28 平成29年度 高知県溶接技術コンクール表彰式を開催

●第十さんが3連覇!

競技会は5月27日に実施し、総合審査会を経て、以下の方々が表彰されました。

今年の注目は、第十忍氏が被覆アーク溶接の部で3連覇を達成したことと、(株)エスイージーの健闘が光った競技会となりました。

なお、各部門1位の方は10月に神奈川県で開かれる全国大会に出場します。



炭酸ガスアーク溶接の部 第1位
澤田 将矢 さん(左)



○被覆アーク溶接の部 (参加者：4名/2社、1学校)

- 第1位 第十 忍 (株)エスイージー
- 第2位 宗石 有平 高知高等技術学校 溶接科

○炭酸ガスアーク溶接の部 (参加者：26名/11社、1学校)

- 第1位 澤田 将矢 (株)エスイージー
 - 第2位 中平 直人 三洋工業(株)
 - 第3位 岩崎 巧 (株)一宮鉄工所
 - 優秀賞 向井 謙太 将生工業
 - 優秀賞 上池 雄也 (株)エスイージー
 - 優秀賞 有瀬 俊康 (有)宮崎ウェルディング
 - 優秀賞 小原 一訓 (株)垣内
- ※7名が会員企業

●7月11日 第2回 人材育成委員会

●中核人材の育成については、経営と技術の2分野に。

(経営) 土佐MBA
(技術) ものづくり人材育成研究会
(産振センター)

→5/17西南工業団地視察。
6社から課長クラス10名参加

●7月12日 第2回 産業間連携委員会

●中城新委員長の初の委員会を開催。委員長のカラーも出して本年度の方針は、

- ・県内の情報系企業と連携し、
- ・ITやIoTの手法を積極的に導入して、
- ・1次産業の生産性向上を推進する。

●7月27日 受注拡大委員会

●I工場のIT化セミナー開催
生産管理システムの構築をめざして
四国スッピル工業(有)さんにおいてセミナーを開催。3社から4名、県からも2名が参加。
講師：高知県よろず支援拠点
中村 州男 氏

●8/30 IoT特別講演について補足 → 次ページの案内チラシをご覧ください!

●そもそもの3社の集まりは・・・

「異業種交流会での話題という、昨今の経営環境を嘆くグチばかり。そんな状況に嫌気がさしたときに、いろいろ話をするようになったのが今野社長でした」(西川精機製作所 西川社長)

- 今野製作所 (30名) 東京都足立区
 - 西川精機製作所 (9名) " 江戸川区
 - イー・アイ・エス (18名) " 江戸川区
- 注) カッコの従業員数はH28年

●特別セミナーのお知らせ 主催 総務委員会

日時		講座名
9/15 (金)	AM	営業の基本
	PM	雇用・人事評価・人の活かし方
9/22 (金)	AM	決算書の読み方
	PM	事業計画書の作り方

・定員 各講座10名
・講師 NPO法人こうち企業支援センター経営コンサルタント
※なお、受講する講座は選択できます。
改めて正式にご案内いたします。

編集後記：人手不足、売り手市場、さらに高知県は完全雇用状態であるとも言われ、人材の確保は厳しい状況。工業高校の県内就職率の低下、さらに高専のそれは7%。県外企業の攻勢はすさまじいものを感じますが、めげずに学校との交流は続けていきます。意見交換会は説明会にならないようにと事前に入念に打合せをしていましたが実際は？ それはそれとして、3者協定が工業会の活動のなかに浸透していることが実感できます。(にしうち)



県では昨年7月に企業や大学などで構成する「高知県IoT推進ラボ」を設立し、IoT技術による地域の課題解決や、各産業の生産性向上を目指した取り組みを進めています。

今回は、高知県工業会・高知県産業振興センターと合同で、テレビや雑誌など多くのメディアで紹介されている中小ものづくり企業によるIoT活用モデルをご紹介します。東京都内の金属加工会社3社がインターネットでつながり、クラウド上で互いの生産や出荷管理といった情報を共有し、顧客から見るとあたかも1社に発注したように動こうという試みは、全国的な注目を集めています。多くの皆様のご参加をお待ちしています。

特別講演

「一步踏み出す！ つながる町工場の挑戦」

入場無料
一般参加歓迎

株式会社 今野製作所 代表取締役社長 今野浩好 氏



東京都足立区と江戸川区に製造拠点を置く3つの町工場。「普段はライバルである同業者であっても、従業員が20人に満たない小規模製造業者が生き残るためには、お互いに手を結び、業務の共通化、効率化を図るしかない！」というリーダーの今野浩好社長の掛け声のもと、3社合同による人材育成や6S活動等の取り組みを経て、生産管理システムのIT化、見える化、つながる化を進めてこられました。地域の町工場が生き残っていくため、中小ものづくり企業同士がITで連携してきた取り組みについてご講演いただきます。

意見交換会

ものづくり現場でのIoT技術の活用をテーマに、高知県工業会及び高知県IoT推進ラボ研究会の会員企業と、講師との意見交換を実施いたします。

開催日時・場所 等

開催日時

平成29年8月30日(水)
○セミナー : 13時30分~15時30分
○高知県工業会・IoT推進ラボ研究会との意見交換会 : 15時45分~16時45分

開催場所

サンピアセリーズ 3階 マリンホール (高知県高須砂地155)

主催

(一社) 高知県工業会、高知県IoT推進ラボ研究会  Kochi pref Lab
(公財) 高知県産業振興センター

セミナー定員

80名 ※定員になり次第、締め切らせていただきます。

申込方法

参加申込書にご記入のうえ、FAXまたはE-MAILにてお申し込みください。

申込締切

平成29年8月24日(木)

参加申込書

企業・団体名			
参加者氏名 (役職・氏名) 参加区分(○×をお書きください)	セミナー		意見交換会 (工業会又はIoT推進ラボ研究会会員対象)
	セミナー		意見交換会 (工業会又はIoT推進ラボ研究会会員対象)
電話番号	()	—	
電子メール			

《お問い合わせ・申込先》

高知県商工労働部産業創造課 IoT推進室 利岡、奈良、堀田
TEL 088-823-9751 FAX 088-823-9261
E-mail kochi-iot@ken.pref.kochi.lg.jp